

トリニダード・トバゴ（TT）月間情勢報告 （2019年8月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1. 概況

- マクドナルド総務大臣が横領容疑で逮捕、解任され、野党側はローリー首相の任命責任を問う構え。ローリー首相は被害を最小限に食い止めようとしていると報じられる。
- 米国の対ベネズエラ制裁強化により、TTとベネズエラ間の越境ガス田開発を進めることは困難な状況となった。
- 擘道上智大学学長一行が当地を訪問し、西インド諸島大学他との交流強化を協議した他、日本語教育普及の功績を称え、西インド諸島大学言語学習センターへ外務大臣表彰が授与された。

2. 内政

- 1日、奴隷解放記念日の祝日にあたり、ローリー首相は過去の歴史を忘れることなく、未来に向け進むべきとの声明を発出した。
- 6日付当地紙は、当日の大雨によりトリニダード島東部で洪水が発生し、複数の地域で被害が出たと報道。
- 8～9日付当地紙は、8日マクドナルド総務大臣が、百万TTドル超の公金不正流用の疑いで警察の事情聴取を受け、その後逮捕された、ローリー首相は捜査の進捗を見守る、野党側は同大臣が以前にも2度同様の疑惑で捜査を受けており、ローリー首相の任命責任を問うと述べていると報道。13～14日付当地紙は、同大臣が解任され、後任にシモネット上院議員が指名されたが、同議員の過去の米国での飲酒運転犯歴が発覚し、本人が辞退した、結局ウエスト財務省付大臣が総務大臣兼任と発表されたと報道。
- 8日付当地紙は、ヤング国家安全保障大臣は、東部矯正更正施設の一部が移民収容所として改修され、新たに150人収容できるようになったと述べたと報道。
- 8日付当地紙は、当地企業等によるロビー団体が元FBI捜査官等を雇い、TT警察へのコンサルタント業務を実施する動きがある旨報道。
- 17日付当地紙は、16日モンデロ当地米大使は、ウィルソン刑務所長官に対し、刑務所内の緊急事態対応及び犯罪活動監視のための機器を供与し、刑務所内の犯罪行為監視に貢献することを期待すると述べたと報道。
- 18日付当地紙は、ローリー首相は、ランバラット農業大臣（上院議員）が

次期選挙でチャグアナス東部選挙区から立候補することを確認したと報道。

● 22日付当地紙は、21日、警察学校にて中国による警察用バイク200台の授与式が行われ、ローリー首相、ヤング国家安全保障大臣他が出席した、同車両にはGPSと車載カメラが搭載されており、TTから警察官15名が中国で研修に参加したと報道。

● 26日付当地紙は、北米カリブ教師協会が行った世論は、政府の犯罪対策には満足していないが、グリフィス警察長官については59%が支持、現政権は次期選挙で勝利する見込みとの結果となったと報道。

● 28日付当地紙は、野党統一国民議会党（UNC）は、今年の地方選挙に向け55名の候補者を発表したと報道。

● 30日付当地紙は、モンデロ当地米大使は、米国が75万米ドルを支援してTT警察に建設される犯罪現場模擬施設の起工式にグリフィス警察長官と共に出席し、米国の治安分野でのTTへの支援を強調したと報道。

● 31日、57回目となる独立記念式典で、ウィークス大統領、ローリー首相等出席の下、国防軍、警察、消防等のパレードが行われた。ローリー首相は、独立から現在までを回顧しつつ、21世紀の世界で当国は常に進化を遂げる必要があるとの声明を発出した。

3. 経済

● 7日、平山大使は、カーン・エネルギー大臣と会談し、日本企業によるガス化学プロジェクト等に関して意見交換を行った。

● 8日付当地紙は、政府はポイント・ア・ピア精油所の入札評価委員会を設置し、ダンポール財務次官を委員長として10名の委員を任命したと報道。

● 8日付当地紙は、BHPは、役員会で30億TTドルを投資し、原油日産1万6千バレル、天然ガス8千万立方フィートの生産が見込まれるルビー、デラウェア深海石油ガス田の開発を承認したと報道。

● 15日付当地紙は、エネルギー省筋は、TT及びベネズエラにまたがる越境ガス田の開発は米のベネズエラ制裁強化により中断している、両国はローラン・マナティ及びコクィーナ・マナキンのガス田開発を協議していたが、制裁により中断を余儀なくされたと述べたと報道。

● 19日付当地紙は、豪造船企業オースタルは、ケープ級巡視船2隻を造船する8、500万米ドルの契約をTT政府と正式に署名した、2隻は20年後半に納入されると発表したと報道。

● 20日付当地各紙は、政府はシェルと種々の天然ガス関連事項をカバーする合意に署名したと報道。

● 29日付当地紙は、エネルギー省は、6月の天然ガス生産は日産34億9千

万立方フィートであり、前月比で2億立方フィート減少したが、4月の33億立方フィートより回復したと発表したと報道。

●29日付当地紙は、中央銀行は昨年9月時点での純外貨準備高が75億米ドルと前年同月の85億米ドルから10億米ドルの減少と発表したと報道。

4. 外交

●2日付当地紙は、3～4日に日本での世界コスプレサミットにTTから初めて2人が参加する、TTでもコスプレ等のポップカルチャーへの関心が高まっていると報道。

●2日、平山大使は公邸にて今年のJETプログラム参加者歓迎レセプションを開催し、TTから15人（セントビンセント1人を含む）の壮行式を行った。今年はTTでJETプログラムが開始されてから15年目となる。

●10日付当地紙は、カリビアンガス化学社（CGCL）は、西インド諸島大学に対し、今後5年で50人に5千TTドルの奨学金、30人に各2万ドルの研究支援を提供する覚書に署名したと報道。

●13日、平山大使は、ガルシア教育大臣及びフランス教育省付大臣を訪問し、上智大学学長一行の当国訪問、同大学の西インド諸島大学（UWI）との協力関係等を含む教育分野での2国間関係強化につき協議した。

●16～25日、当地でカリフェスタ（カリコムが隔年開催する文化行事）が開催され、各国からの舞踊等の公演、展示が行われた。

●20～22日、暁道上智大学学長一行が当地を訪問し、西インド諸島大学（UWI）セントオーガスティン校、海洋研究所及びカリブ諸国機構（ACS）事務局を訪問し、学生交流や研究協力強化を協議した。21日、平山大使公邸での歓迎レセプションの際に、当地で長年日本語教育普及に貢献しているUWI言語学習センターへの外務大臣表彰授与式が行われた。

●23日、UWI言語学習センター及び日本大使館共催で第2回日本語弁論大会が開催され、初級及び中級部門で合計9人の参加者が尊敬する日本人のアイコンという課題の下、熱弁を奮った。

●23日付当地紙は、23日から東京オリンピック事前広報の一環でトリニダード・トバゴ大学のスチールパン教授及び学生が訪日し、原宿、高知、奈良等で公演を行うと報道。

●25日付当地各紙は、24日ローリー首相はバルバドスを訪問し、モトリー首相と会談し、両国海洋境界付近での石油ガス田共同開発に関する覚書が両国エネルギー大臣により署名された他、漁業分野での協力及び外交使節の共有につき協議したと報道。

※これは、報道等公開情報をまとめたものであり、報道の真偽まで確かめたものではありません。